

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場会社名 ダイセル化学工業株式会社
 コード番号 4202 URL <http://www.daicel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大

(氏名) 小川 大介

(氏名) 畑 理史

TEL 03-6711-8121

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	230,987	△25.2	14,353	△32.1	14,085	△29.0	8,397	△5.9
21年3月期第3四半期	308,606	—	21,129	—	19,844	—	8,928	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	23.59	—
21年3月期第3四半期	24.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	437,247	221,654	45.6	560.81
21年3月期	445,911	211,487	42.3	530.43

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 199,601百万円 21年3月期 188,807百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年3月期	—	4.00	—		
22年3月期 (予想)				4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	△15.3	19,000	79.4	18,000	119.1	9,000	594.4	25.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	364,942,682株	21年3月期	364,942,682株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	9,023,300株	21年3月期	8,987,467株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	355,936,074株	21年3月期第3四半期	359,012,748株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

なお、予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の6ページを参照してください。

(参考)

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	185,000	△10.2	9,000	—	10,000	—	5,000	—	円 銭 14.05

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、景気が持ち直しつつあるとも言われ続けてまいりましたが、需要回復に力強さは無く、為替は円高・ドル安傾向で推移し、厳しい雇用情勢が続くなど、予断を許さない状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、販売数量が大きく減少したことにより、2,309億87百万円（前年同期比25.2%減）となりました。固定費削減などのコストダウンに取り組みましたものの、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下が影響して、利益面では、営業利益143億53百万円（前年同期比32.1%減）、経常利益140億85百万円（前年同期比29.0%減）、四半期純利益83億97百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

事業部門別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、主に液晶表示向けフィルム用途の需要が回復傾向で推移したことにより、売上高は横這いとなりました。

たばこフィルター用トウは、平成21年1月に販売価格是正を実施いたしました。当社姫路製造所網干工場の2年に1度の定期修繕を実施したことによる生産量の減少、海外顧客による在庫削減や円高の影響などにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、565億67百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は、原燃料価格の低下やコストダウンなどにより、93億11百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、主要用途である高純度テレフタル酸（PTA）向けを中心に需要が回復傾向で推移したことにより販売数量は増加いたしました。円高の影響などにより、売上高は減少いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、需要回復に力強さが無く、販売価格の低下や円高の影響もあって、売上高は減少いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物、半導体レジスト材料などの機能品は、液晶パネル関連製品など一部製品の需要は回復傾向で推移いたしました。欧米向けを中心に需要の低迷が続き、円高の影響もあって、売上高は減少いたしました。

光学異性体分離カラム、医薬中間体などのキラルケミカル（光学活性体）事業は、中国、インド向けのカラム販売は好調に推移いたしました。欧米向けの販売は低調に推移し、一部製品の需要減や円高の影響により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、540億41百万円（前年同期比28.8%減）、営業利益は、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下も影響し、43億1百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂などのエンジニアリングプラスチックは、12月決算会社である連結子会社ポリプラスチック株式会社を中心とした企業群が事業を行っております。当第3四半期連結累計期間にあたる平成21年1～9月においては、主要製品の販売が回復傾向で推移いたしました。前年同期の販売数量に至らず、売上高は減少いたしました。

AS・ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、国内需要の回復に力強さは無く、販売価格低下も影響して、売上高は減少いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、景気低迷の影響に加え、三国プラスチック株式会社を前第3四半期連結会計期間より当社の連結会社から除外したことも影響し、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、798億73百万円（前年同期比33.6%減）、営業利益は、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下も大きく影響し、33億82百万円（前年同期比59.6%減）となりました。

[火工品事業部門]

国内外における自動車生産は回復基調で推移いたしました。前年同期の水準には至りませんでした。その影響により、自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）の販売数量は落ち込み、円高の影響も受け、売上高は減少いたしました。また、シートベルト・プリテンショナー用ガス発生器（PGG）の売上高は横這いとなりました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の販売数量減少により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、362億72百万円（前年同期比26.8%減）、営業利益は、販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下も影響し、27億54百万円（前年同期比29.6%減）となりました。

[その他事業部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、下水道分野向け製品の販売は減少いたしました。排水処理など一般産業分野向け製品や医療用分野向け製品の販売は堅調で、売上高は増加いたしました。

その他新規機能性材料などは、景気低迷により需要が減少し、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、42億32百万円（前年同期比11.7%減）、営業利益は、3億55百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、売上債権の増加、投資有価証券の時価回復による増加がありましたが、たな卸資産、有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比し86億64百万円減少し4,372億47百万円となりました。

負債は、社債の発行による増加がありましたが、短期借入金の減少により前連結会計年度末に比し188億31百万円減少し、2,155億92百万円となりました。

また、純資産は、2,216億54百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、1,996億1百万円となり、自己資本比率は45.6%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は467億63百万円（前年同期は259億21百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前四半期純利益130億26百万円、減価償却費278億57百万円、たな卸資産の減少105億44百万円、および仕入債務の増加102億52百万円であり、資金減少の主な内容は、売上債権の増加146億10百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は158億92百万円（前年同期は182億5百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出149億32百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は315億33百万円（前年同期は32億93百万円の減少）となりました。資金増加の主な内容は、長期借入による収入150億35百万円および社債発行による収入198億92百万円、資金減少の主な内容は、短期借入金の減少による支出414億56百万円、長期借入金の返済による支出212億92百万円です。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は298億25百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高はほぼ想定どおりの水準で推移いたしましたが、固定費の削減を始めとするコストダウンへの取り組みが奏功し、利益面では想定を上回る水準で推移いたしました。

上記を踏まえ、平成21年11月6日公表の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成22年3月期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	308,000	15,000	13,000	6,000	16円86銭
今回発表予想 (B)	320,000	19,000	18,000	9,000	25円29銭
増減額 (B-A)	12,000	4,000	5,000	3,000	
増減率 (%)	3.9	26.7	38.5	50.0	
(ご参考) 前期実績	377,979	10,589	8,214	1,296	3円62銭

平成22年3月期の個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	182,000	8,000	8,000	3,000	8円43銭
今回発表予想 (B)	185,000	9,000	10,000	5,000	14円05銭
増減額 (B-A)	3,000	1,000	2,000	2,000	
増減率 (%)	1.6	12.5	25.0	66.7	
(ご参考) 前期実績	205,955	△241	△4,144	△7,495	△20円92銭

※上記業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,809	30,522
受取手形及び売掛金	74,160	59,733
有価証券	2,526	25
たな卸資産	65,590	75,984
その他	14,177	19,420
貸倒引当金	△153	△141
流動資産合計	184,110	185,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	51,432	52,512
機械装置及び運搬具（純額）	88,867	102,269
土地	26,398	26,486
建設仮勘定	14,184	11,706
その他（純額）	2,871	3,364
有形固定資産合計	183,754	196,340
無形固定資産	3,972	3,899
投資その他の資産		
投資有価証券	51,052	43,211
その他	14,597	17,154
貸倒引当金	△240	△240
投資その他の資産合計	65,410	60,125
固定資産合計	253,137	260,365
資産合計	437,247	445,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,543	33,471
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	15,191	56,683
1年内返済予定の長期借入金	24,323	26,450
未払法人税等	3,213	1,199
修繕引当金	951	2,705
その他	17,528	20,647
流動負債合計	114,751	151,157
固定負債		
社債	30,000	10,000
長期借入金	55,277	59,468
退職給付引当金	8,782	8,705
役員退職慰労引当金	70	116
修繕引当金	634	46
その他	6,076	4,928
固定負債合計	100,841	83,266
負債合計	215,592	234,424

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,576	31,576
利益剰余金	127,898	122,347
自己株式	△4,096	△4,077
株主資本合計	191,653	186,122
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,233	9,150
繰延ヘッジ損益	△195	△193
為替換算調整勘定	△6,089	△6,270
評価・換算差額等合計	7,948	2,685
少数株主持分	22,052	22,679
純資産合計	221,654	211,487
負債純資産合計	437,247	445,911

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	308,606	230,987
売上原価	245,558	181,300
売上総利益	63,047	49,687
販売費及び一般管理費	41,918	35,333
営業利益	21,129	14,353
営業外収益		
受取利息	316	134
受取配当金	1,046	687
持分法による投資利益	428	858
その他	802	1,268
営業外収益合計	2,593	2,949
営業外費用		
支払利息	2,151	1,814
為替差損	841	237
その他	886	1,166
営業外費用合計	3,878	3,217
経常利益	19,844	14,085
特別利益		
固定資産処分益	17	27
投資有価証券売却益	32	10
補助金収入	233	—
特別利益合計	282	37
特別損失		
固定資産除却損	1,157	696
減損損失	79	—
固定資産圧縮損	220	—
投資有価証券評価損	218	—
和解金	—	398
特別損失合計	1,676	1,095
税金等調整前四半期純利益	18,450	13,026
法人税、住民税及び事業税	4,988	3,969
法人税等調整額	2,151	529
法人税等合計	7,140	4,499
少数株主利益	2,382	129
四半期純利益	8,928	8,397

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,450	13,026
減価償却費	28,203	27,857
減損損失	79	—
受取利息及び受取配当金	△1,362	△821
支払利息	2,151	1,814
持分法による投資損益 (△は益)	△428	△858
固定資産除売却損益 (△は益)	1,140	669
固定資産圧縮損	220	—
補助金収入	△233	—
売上債権の増減額 (△は増加)	0	△14,610
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,960	10,544
仕入債務の増減額 (△は減少)	△564	10,252
その他	680	228
小計	33,376	48,102
利息及び配当金の受取額	1,954	1,296
利息の支払額	△2,100	△1,621
和解金の支払額	—	△398
法人税等の支払額	△7,309	△2,638
法人税等の還付額	—	2,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,921	46,763
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,805	△14,932
有形固定資産の売却による収入	33	147
無形固定資産の取得による支出	△631	△449
投資有価証券の取得による支出	△188	△15
貸付けによる支出	△1,669	△11
貸付金の回収による収入	1,149	746
収用に係る補償金入金による収入	5,880	—
補助金収入	233	—
その他	△2,205	△1,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,205	△15,892
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	18,706	△41,456
長期借入れによる収入	1,420	15,035
長期借入金の返済による支出	△18,690	△21,292
社債の発行による収入	—	19,892
自己株式の取得による支出	△1,408	△20
自己株式の売却による収入	11	1
配当金の支払額	△2,875	△2,847
少数株主への配当金の支払額	△457	△846
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,293	△31,533
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,612	△20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,809	△682
現金及び現金同等物の期首残高	20,740	30,507
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△33	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,516	29,825

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	セルローズ事業 (百万円)	有機合成事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	火工品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	58,077	75,906	120,285	49,545	4,791	308,606	—	308,606
(2) セグメント間の内部売上高	2,637	14,777	3	—	8,895	26,314	(26,314)	—
計	60,714	90,684	120,289	49,545	13,686	334,920	(26,314)	308,606
営業利益	7,402	6,805	8,373	3,912	466	26,960	(5,830)	21,129

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	セルローズ事業 (百万円)	有機合成事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	火工品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	56,567	54,041	79,873	36,272	4,232	230,987	—	230,987
(2) セグメント間の内部売上高	1,959	7,673	4	—	6,846	16,485	(16,485)	—
計	58,527	61,715	79,878	36,272	11,079	247,472	(16,485)	230,987
営業利益	9,311	4,301	3,382	2,754	355	20,104	(5,750)	14,353

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	226,289	56,632	25,684	308,606	—	308,606
(2) セグメント間の内部売上高	32,370	12,394	1,874	46,640	(46,640)	—
計	258,660	69,027	27,559	355,246	(46,640)	308,606
営業利益又は営業損失(△)	19,310	7,672	△23	26,960	(5,830)	21,129

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	176,970	38,855	15,161	230,987	—	230,987
(2) セグメント間の内部売上高	23,806	9,486	1,203	34,496	(34,496)	—
計	200,776	48,342	16,364	265,484	(34,496)	230,987
営業利益又は営業損失(△)	16,063	4,188	△147	20,104	(5,750)	14,353

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	77,316	41,458	118,774
II 連結売上高(百万円)			308,606
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	25.1	13.4	38.5

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	55,068	27,257	82,325
II 連結売上高(百万円)			230,987
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	23.8	11.8	35.6

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。